

新幹線栗東新駅の駅舎建設費の負担中止を求める請願書

2005年 月 日

栗東市議会議長三浦忠一郎様

請願代表者

駅舎建設費の負担中止を求める会

代表 玉田 実（栗東市中沢2丁目14-6）

紹介議員

請願趣旨

栗東市は、新幹線新駅の駅舎建設費（240億円）のうち、100億円もの莫大な負担金を、JR東海に支出しようとしています。

しかし、多くの市民の間では「利用もしない駅に、借金までして駅はいらぬ」「住民投票もしないで強行するなんて、いったい誰のための駅なのか」等々、疑問と批判の声が広がっています。

栗東市は、今でも900億円（市民1人当たり150万円で県下トップ）の借金をかかえており、市は財政が厳しいからと、15年から17年の3年間で、4億7500万円もの福祉や教育、生活関連予算などを軒並みカットしてきました。市民にはしわ寄せを強いておいて、JRには100億円もの負担金の支出は、とうてい納得できるものではありません。

子や孫たちにまで多額の借金を背負わせることになる、駅舎建設にかかるJRへの寄付（負担金）は、支出しないよう求めます。暮らしが大変なときだからこそ、貴重な税金は、福祉や教育・環境など、市民生活向上のために使われるべきです。よって、以下の事項を請願いたします。

請願事項

1. 新幹線栗東新駅の駅舎建設費の負担金は支出しないこと。

氏名	住所

この署名簿にサインをして、ファックス552-8849まで